

## ミャンマーからのニュース 8/15/2021

### YMCA 及びワイズメンについて最近の状況

今年の6月2週目から始まったコロナのデルタ株感染が急激に広がっています。医療体制の弱さ、医療従事者不足、医療管理体制の不備、そして酸素ボンベの不足などのゆえに多くの方が命を失っています。ミャンマーYMCA では酸素ボンベ供給プロジェクトを行い、一方でワイズのユースメンバーたちがこのボンベの配送サービスをボランティアで行っています。まさに命に係わるサービスとなっています。それらの活動を限られた資金で運営していますが、現在は、韓国 YMCA と米国 YMCA からの寄付を APAY 経由で受け取った資金で行っています。ワイズの東南アジア区やミャンマーの属する SMIT 地域で強力な応援をしてくれています。

今年の6月にチャーターした4つの新しいワイズも困難の中で苦戦しています。私は、これらのクラブに少なくとも定例会を行う事、ファンドレイジングをすること、さらにはメンバー増強に努める事を強調してきました。しかし、このような状況の中で思うような進展はできません。中にはワイズのメンバーの中でデルタ株感染が7月に出ています。最近では、私たちはこのデルタ株感染からの救援プログラムを一般市民を対象に7月からスタートしています。このプログラムは、11の州や区で35,000家族、14万人を対象に行っています。プログラムの内容は、一つ目に、食料と日常必需品の提供を6か月間続けること、二つ目に、薬と医薬品の提供、三つ目に農業の持続的発展への技術指導を3年間継続することなどです。

インドの NGO は、パートナーとして援助をしてくれることになりました。このためには YMCA 同盟として6人の国務大臣から許可を得る必要があります。8月22日までロックダウンが続いている中で国務大臣の許可を得ることは大変困難であると分かってはいますが、今週は、まだ多くの機関が閉まったままです。銀行も閉じています。そんな中で前進させるために大変苦勞しています。ワイズ東南アジア地区のジョーンウオン理事も、今回の新設4ワイズメンズクラブのスポンサークラブをしてくれた既存クラブやワイズのメンバーにミャンマーへの支援を呼び掛けてくれています。大変感謝しています。

また、チェンマイ YMCA (タイ) も健康と食料支援のためのトレーニングに協力をしてくれています。このトレーニングは YMCA にとり又ワイズにとり大変役に立つものです。

**Let us work together for the suffering people of Myanmar.**  
ミャンマーで苦しんでいる人々のために共に頑張りましょう

2021年8月14日

ミャンマーYMCA 同盟総主事 Maung Maung Win